

基本事業コード	08040001	担当課所名	都市計画課
基本事業名	都市計画事業		
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	2	安全で住みたくなる「快適なまち」
	政策	1	魅力を高める地域基盤づくり
	施策	2	調和のとれた地域の形成
			総合振興計画 66 ページ

基本事業の概要	地域の健全な発展と秩序ある整備を図るために、都市計画制度に基づく決定及び指導を実施する。
---------	--

対象	都市計画区域
意図 (対象をどのようにしたいか)	都市計画制度に基づく諸施策を実施し、地域の健全な発展と秩序ある整備を進め、区域内人口の維持又は減少を鈍化する。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
都市計画区域内人口	—	万人	5.33	5.41	5.33	5.35	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	都市計画図整備販売事業	指標	都市計画図の頒布	—	338	枚	A 維持 維持	○
		662,430	1,064,032	1,175,000				
02	都市計画決定及び指導事業	指標	市に申請・經由される建築確認等に係る確認・指導	100	100	%	A 維持 維持	◎
		3,566,625	2,860	211,000				
03	都市計画連絡調整事業	指標	各種会議への出席率	100	100	%	A 維持 維持	
		113,676	43,230	66,000				
04	秩父市都市計画審議会の開催	指標	都市計画審議会の開催要望に対する開催率	100	100	%	A 維持 維持	
		0	0	156,000				
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14	★ 都市計画システム業務委託事業	指標	都市計画図の頒布					
					3,812,000			

(参考) 最終予算額(円) 4,603,000 1,733,000

事業費の合計(円) (A) 4,342,731 1,110,122 5,420,000

財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他特定		191,950	
	一般財源	4,342,731	918,172	5,420,000

正規職員	業務量	1.15人	1.20人
	人件費(B)	6,833,549	7,224,601
臨時職員 (事業費に含む)	業務量		
	人件費		

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B) 11,176,280 8,334,723

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	基礎自治体として、地域の健全な発展と秩序ある整備を図る意味でも適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 問題ない。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 都市計画法等の法律で実施主体が決められている。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
<p>表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 開発事業の基礎となる都市計画システムについて、データの更新を行うことでスムーズで適切な指導が行える。また、近年、都市計画施設や用途地域の見直しを行う必要があるものが出てきている。都市計画は、長期的な展望に立ち、慎重に決定していく必要がある。そのため、都市計画決定及び指導事業を重点化し、慎重に検討していきたい。</p>		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)		昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)
予算を伴わず 早急に実施可能な 改善提案		
短期的 (1～2年以内)に 実施可能な 改善提案	システム更新を実施	平成21年に導入した都市計画システムの保守期間が平成25年に終了するためシステムの更新を行う。 平成25年度に実施予定
中長期的 (概ね3～5年)に 実施可能な 改善提案		
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー事務の効率が見込めると共に、データの更新が容易になる。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	廣瀬 恭一	電話番号 0494-26-6867
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	08040002	担当課所名	都市計画課
基本事業名	駅前広場管理事業		
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	2	安全で住みたくなる「快適なまち」
	政策	1	魅力を高める地域基盤づくり
	施策	2	調和のとれた地域の形成
総合振興計画 66 ページ			

基本事業の概要	秩父駅及び西武秩父駅前広場に整備されたモニュメントの施設管理を行い、駅利用者等に安全にたのしんでもらう。また、主要駅に二輪車(自転車を重点)専用置場を設置し、駅周辺の違法駐輪をなくし、道路交通の円滑化・環境の美化を図る。
---------	--

対象	駅利用者
意図 (対象をどのようにしたいか)	施設を良好な状態で使用できるようにする。また、主要駅周辺の違法駐輪等をなくし、道路交通の円滑化・環境の美化を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
広場施設に起因する事故件数		件	0.	0.	0.	0.	
違法駐輪苦情件数		件	0.	0.	2.	0.	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	秩父駅前広場管理事業	指標	秩父駅前モニュメント稼働日数	150.	90.	日	C	
			84,670	552,089	912,000		縮小 縮小	
02	西武秩父駅前広場管理事業	指標	モニュメント等の施設に起因する場内事故件数	0.	0.	件	B	
			963,786	34,407	470,000		縮小 維持	
03	駐輪場管理事業	指標	苦情件数	0.	2.	件	A	◎
			1,511,023	1,529,844	1,593,000		維持 維持	
04		指標						
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)		3,487,000	3,077,000
事業費の合計(円) (A)		2,559,479	2,116,340
財源内訳	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
	その他特定一般財源	2,559,479	2,116,340
正規職員	業務量	0.45人	0.45人
	人件費(B)	2,674,015	2,709,225
臨時職員 (事業費に含む)	業務量		
	人件費		
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		5,233,494	4,825,565

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	x	C, B	B, C	C
	維持	x	B	A	x
	縮小	x	C	x	x
	廃止	D	x	x	x
	皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	この事業は駅前の賑わいを演出し、駅前広場の良好な環境の確保を目的としており、基本事業指標を、モニュメント等の施設に起因する、広場内事故件数とした。問題になる大きな瑕疵や違法駐輪等もなく、良好に管理できた。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 枝番号03駐輪場管理事業について、シルバーに委託を行い駐輪場の整理をしているが、適切に整理され駅前広場に違法駐輪がなく、違法駐輪による接触事故等は起こらなかった。また01秩父駅前広場管理事業、02西武駅前広場管理事業ともに東日本大震災の影響による電力不足により必要最低限の電力使用となったが大きな問題や事故もなかった。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 都市機能としての駅前広場の環境整備は行政が主体となって行っていく必要がある。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述	
駅利用者の駐輪場を適切に管理運営し違法駐輪をなくすことにより、駅周辺の混雑緩和や歩行者の安全など良好な都市交通機能に貢献できるため駐輪場管理事業を重点化した。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	<p>秩父駅前広場、西武秩父駅前広場とも、今後も電力事情を考慮し、必要最低限の電力使用を目指す。</p> <p>今年度も電力事情を考慮し、必要最低限の電力使用を目指す。</p> <p>秩父駅前広場、西武秩父駅前広場とも、電力事情を考慮し、必要最低限の電力使用に抑えた。</p>
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	<p>秩父駅前広場モニュメント(噴水)については、駅前の賑わいの演出には貢献しているが、夏の電力需要、市としての節電対策も行っていかなければならないと考える。噴水として一番効果的なのは夏場であり、電力不足が懸念されるのも夏場であるため節電には停止しなければならない。夏場は節電により停止、冬場は凍結防止のため停止となると1年のうち5か月程度の稼働だけとなるため今後廃止も検討が必要となる。</p> <p>秩父駅前広場モニュメント(噴水)については、駅前の賑わいの演出には貢献しているが、夏の電力需要、市としての節電対策も行っていかなければならないと考える。噴水として一番効果的なのは夏場であり、電力不足が懸念されるのも夏場であるため節電には停止しなければならない。夏場は節電により停止、冬場は凍結防止のため停止となると1年のうち5か月程度の稼働だけとなるため今後廃止も検討が必要となる。</p> <p>秩父駅前広場モニュメント(噴水)については、夏場の電力不足を考慮して、稼働期間を4月~6月とした。</p>
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	<p>西武秩父駅前広場に身障者や高齢者が乗降するスペースがないため、スロープ等の備えた乗降場を整備する必要がある。</p> <p>西武秩父駅前広場は全体的に狭く余剰スペースがないため、安全な乗降場を整備するためには、大規模な改修工事が必要となる。また土地所有者である西武鉄道株式会社とも協議をする必要がある。</p> <p>西武秩父駅前広場に身障者や高齢者が乗降するスペースがないため、スロープ等の備えた乗降場を整備する必要がある。</p> <p>西武秩父駅前広場は全体的に狭く余剰スペースがないため、安全な乗降場を整備するためには、大規模な改修工事が必要となる。また土地所有者である西武鉄道株式会社とも協議をする必要がある。</p> <p>平成23年度に西武鉄道と協力し、歩道に点字ブロックを設置したが、平成24年度は進捗がなかった。</p>
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー	
観光期などを中心とし、秩父のイメージアップとなる様なモニュメント管理を行うとともに、身障者や高齢者にも利用しやすい環境が整備できる。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	廣瀬 恭一	電話番号 0494-26-6867
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	08040003	担当課所名	都市計画課
基本事業名	景観形成事業		
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	2	安全で住みたくなる「快適なまち」
	政策	1	魅力を高める地域基盤づくり
	施策	2	調和のとれた地域の形成
総合振興計画 66 ページ			

基本事業の概要
本市の魅力を支える景観を絶やさず、将来に向けてさらに優れたものとするため、景観計画や屋外広告物の許可事務等により景観誘導を図る。

対象	市民、事業者等
意図 (対象をどのようにしたいか)	景観に配慮したまちづくりを行えるようにする。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
景観法に基づく届出		件	47	50	61	50	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	★ 景観形成重点地区支援事業	指標	秩父市まちづくり景観形成補助金申請件数	1	1	件	A	◎
		2,560,000	0	4,033,000	0		維持 維持	
02	景観に関する取組の普及啓発事業	指標	普及啓発のためのイベント参加回数	1	1	回	C	
		34,628	41,630	47,000	0		縮小 縮小	
03	埼玉県景観行政連絡協議会事務	指標	埼玉県景観行政連絡協議会参加回数	1	1	回	A	
		2,860	3,220	7,000	1		維持 維持	
04	景観法に基づく届出等の処理事務	指標	景観法に基づく届出受理件数	20	20	件	A	
		0	0	0	35		維持 維持	
05	屋外広告物の許可事務	指標	屋外広告物許可申請審査件数	200	200	件	A	○
		0	0	7,000	230		維持 維持	
06	屋外広告物の簡易除却事務	指標	違法な屋外広告物の簡易除却件数	10	10	件	A	
		470,748	0	0	0		維持 維持	
07	★ 景観形成重点地区支援事業(平成23年度からの繰越分)	指標	秩父市まちづくり景観形成補助金申請件数	1	1	件	A	
		1,000,000	1,000,000	0	1		維持 維持	
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14	景観形成重点地区支援事業(平成22年度からの繰越分)	指標						
		1,000,000						

(参考) 最終予算額(円) 4,627,000 1,145,000

事業費の合計(円) (A) 5,068,236 1,044,850 4,094,000

財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他特定	963,460	906,800	
	一般財源	4,104,776	138,050	4,094,000

正規職員	業務量	0.85人	0.75人
	人件費(B)	5,050,918	4,515,376
臨時職員 (事業費に含む)	業務量		
	人件費		

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B) 10,119,154 5,560,226

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	x	C, B	B, C	C
	維持	x	B	A	x
	縮小	x	C	x	x
	休廃止	D	x	x	x
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	この事業は、建築物等の形態・意匠及び屋外広告物の掲出等をコントロールし、魅力ある景観を創出するものである。そこで、基本事業指標を景観届出受理及び長期優良住宅に係る景観適合証明件数とした。対象件数が限られているものではないが、目標値とした50件に対して実績値は61件であり、目標値数より大幅に建築物の景観をコントロールすることが出来た。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 景観に配慮したまちづくりを進める上で、構成した事務事業に問題はない。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ この事業は、良好な景観形成を図るものではない。本事業は、新築時または改築時等、市民の生活環境の維持・改善に不可欠なものであり、行政が実施主体となり推進していくほかない。

↓ Action

◆改善提案◆	
新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 本町・中町景観形成重点地区(先行地区)において、魅力ある景観を創出するため、重点化するものである。なお、中央通線街路整備事業に係る用地交渉を担当している用地課と連携して、計画及び補助金の趣旨を説明し、魅力ある景観形成を支援する。 また、屋外広告物の許可については、県が進める許可基準及び禁止地域等の見直しの会議に参加し、より良い制度の構築に努める。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず 早急に実施可能な 改善提案	景観の届出及び屋外広告物の許可申請窓口、またはパトロール等において、助言・指導の徹底を図る。 景観の届出及び屋外広告物の許可申請窓口、またはパトロール等において、助言・指導の徹底を図る。 窓において助言、指導を徹底した。
短期的 (1～2年以内)に 実施可能な 改善提案	
中長期的 (概ね3～5年)に 実施可能な 改善提案	
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 良好な景観の形成が期待できる。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	廣瀬 恭一	電話番号 0494-26-6867
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	08040004	担当課所名	都市計画課
基本事業名	都市公園運営事業		
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	2	安全で住みたくなる「快適なまち」
	政策	1	魅力を高める地域基盤づくり
	施策	2	調和のとれた地域の形成
			総合振興計画 66 ページ

基本事業の概要
市内に6箇所ある都市公園は、修繕・整備を行い維持管理しているが、特に羊山公園は「芝桜の丘」整備による来園者の急増により、既存施設での受入れに支障が生じてきた。そこで、市民はもとより観光客等、来園者の利用促進と利便性の向上を図るためにも、さらに整備を進め、安心安全な公園運営を目指す。

対象 公園来園者
意図 (対象をどのようにしたいか) 施設の安全を図り、魅力的な公園作りをするとともに、施設をより快適に利用してもらう。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
公園内事故件数			0	0	2	0	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指 標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	羊山公園維持管理事業	指標 除草・清掃作業実施日数	230		230	日	B	◎
		19,097,150	51,227,418	18,647,000	224		縮小 維持	
02	羊山公園警備委託	指標 警備委託日数	365		365	日	A	
		585,900	585,900	586,000	365		維持 維持	
03	羊山公園土地借上事業	指標 土地借上料の値上率	0		0	%	A	
		4,189,548	4,189,548	4,458,000	0		維持 維持	
04	羊山公園ふれあい牧場羊飼育事業	指標 入場者数	100,000		100,000	人	A	
		171,063	144,886	2,653,000	100,000		維持 維持	
05	公園工事・改修事業	指標 年度内計画の整備・改修率	100		100	%	A	
		892,500	381,150	2,900,000	100		維持 維持	
06	都市公園保険加入事務	指標 公園内事故件数	0		2	件	A	
		347,000	347,000	347,000	2		維持 維持	
07	遊具保守点検業務委託	指標 保守点検箇所数	6		6	箇所	A	○
		126,000	126,000	126,000	6		維持 維持	
08	大宮児童公園・けやき公園維持管理事業	指標 除草・清掃作業実施日数	50		83	日	A	○
		863,887	930,681	1,026,000	83		維持 維持	
09	加盟団体調整事務	指標 研修会参加回数	3		6	回	C	
		5,023,580	5,011,860	34,000	6		縮小 縮小	
10	みどりが丘工業団地内公園維持管理事業(H24一般公園運営事業へ移動)	指標						
		2,906,342						
11	★ 羊山公園公園台帳更新事業	指標 台帳整備率	100			%		
			0					
12	★ 羊山公園再評価業務委託	指標 費用対効果(便益/費用)	5			%		
			0					
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円) 35,468,000 65,525,000

事業費の合計(円) (A)		34,202,970	62,944,443	30,777,000
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他特定		781,583	
	一般財源	34,202,970	62,162,860	30,777,000
正規職員	業務量	2.20人	2.10人	
	人件費(B)	13,072,963	12,643,052	
臨時職員 (事業費に含む)	業務量			
	人件費			
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		47,275,933	75,587,495	

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	「羊山公園」は近年「芝桜の丘」を中心とした整備を行ってきた。都市公園としても中心市街地に隣接し「芝生広場」「わんぱく広場」「見晴しの丘」をはじめ博物館・美術館等の施設を備えるなど、市民はもとより観光客の利用も多い。そこで、公園全体を総合的に管理し、公園内での事故が発生しないよう維持・整備を進めていく。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 今後の整備については、できるだけ費用を抑えたものを計画していくが、都市公園の中でも特に来園者数の多い羊山公園の整備は必要不可欠である。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 都市公園は、都市公園法により「管理は地方公共団体が行うもの」とされているため、自治体の関与は適切と考えるが、今後の管理運営方法等、指定管理者の導入も検討し経費節減につとめていく必要がある。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 羊山公園は都市公園の中でも、市内はもとより県内外から多くの来園者が訪れる。今後も多くの方に楽しんでいただけるように整備を進める必要がある。また、公園内には未買収の土地が多く残されており、開設面積を広げるためにも用地の取得も考えなくてはならない。そのために、公園の長寿命化計画を策定し、計画的に維持整備を進めていく必要があると考える。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
加盟団体調整事務	加入している団体の内容を吟味し、段階を踏み退会を実施した。今後は、ミュージックパークについて小鹿野町に支払っている高額な負担金については、平成25年度からミュージックパーク運営事業へ計上。	
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)		
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案		昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	ユニバーサルデザインを取り入れた施設のバリアフリー化を検討し、より快適な公園へ整備を進める。そのために、公園の長寿命化計画を策定する。	公園の長寿命化計画策定 長寿命化計画策定にあたり、必要となる公園台帳更新事業の予算化がされなかったため、計画は未策定となっている。
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	委託できる事業については実施し、簡素化・効率化が図られているが、今後もさらなる軽費削減にむけ公園の安全を守っていく。	公園管理業務の指定管理に向けた調査を検討する。 近々の指定管理導入は難しいため、引き続き経費削減の取り組みに力を入れる。
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 整備を推進し、施設を維持することにより、住民の集いの場や災害時の避難場所として子どもから高齢者まで誰もが安心して利用できる身近な公園として更なる利用促進が図れる。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	廣瀬 恭一	電話番号 0494-26-6867
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	08040005	担当課所名	都市計画課
基本事業名	スポーツの森運営事業		
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	4	にぎわいと感動を呼ぶ「交流のまち」
	政策	1	人が集まる観光づくり
	施策	1	観光資源の活用と整備
総合振興計画 104 ページ			

基本事業の概要	スポーツの森利用者が快適に利用できるようにするため、全体の運営を第3セクターに委託する。また、森のキャンパスアドベンチャーコース等を整備し、利用者の増加を図る。
---------	--

対象	スポーツの森利用者
意図 (対象をどのようにしたいか)	施設を快適に利用していただき、利用者の増加を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
スポーツの森利用者数	すべての施設の利用者数	人	81,121	82,000	104,663	100,000	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指 標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	スポーツの森施設運営事業(光熱水費)	指標	スポーツの森営業日数	365	365	日	C	○
		18,807,187	20,392,906	32,472,000	365		拡大 拡充	
02	スポーツの森運営委託事業	指標	スポーツの森(プール・コテージ)利用者数	70,000	71,540	人	B	○
		83,600,000	83,600,000	50,000,000	71,540		縮小 維持	
03	スポーツの森施設維持管理事業	指標	スポーツの森営業日数	365	365	日	C	◎
		5,360,690	6,966,080	8,046,000	365		拡大 拡充	
04	森のキャンパスアドベンチャーコース運営事業	指標	アドベンチャーコース利用者数	500	642	人	A	
		1,798,023	1,451,043	1,923,000	642		維持 維持	
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13	コテージ電話交換機取替工事(平成22年度から繰越)	指標						
		3,388,350						
14	スポーツの森案内板等設置工事(平成22年度から繰越)	指標						
		1,609,965						
(参考)最終予算額(円)		116,762,000	122,801,000					
事業費の合計(円) (A)		114,564,215	112,410,029	92,441,000				

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	廃止	D	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性

財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他特定 一般財源	23年度	24年度	25年度
		32,237,052	35,418,380	
82,327,163	76,991,649	92,441,000		
正規職員	業務量 人件費(B)	1.20人 7,130,707	1.30人 7,826,651	
臨時職員 (事業費に含む)	業務量 人件費			
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		121,694,922	120,236,680	

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題は無いのか？
基本事業指標の分析	この事業は、スポーツの森利用者の増加を目的としており、基本事業指数をスポーツの森利用者と設定しているのは妥当であると考えられる。しかしながら、施設全体が老朽化しており施設の修繕費等が年々増加していることを考えると、施設の運営を維持していくためには、事業の縮小、廃止も視野に入れる必要がある。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 森のキャンパスアドベンチャーについては、利用者が伸び悩んでいるため、PRの方法等を検討する必要がある。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 今後、関係各課、団体、企業等と調整を重ね施設管理の委託方法について見直しを図っていく。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 施設の老朽化が目立っており、施設維持のためには多くの施設や機材について修繕や取替が急務となっている。これらをすべて実施するには莫大な費用がかかってしまうため、今後、施設をどのように活用していくか等、委託方法を含めスポーツの森全体の将来的な活用ビジョンを策定した上で、実施していく必要がある。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	<p>市長室、産業観光部等と連携し、利用拡大のためのPR活動を積極的に行う。</p> <p>市長室、産業観光部等と連携し、利用者拡大のためのPR活動を積極的に行う</p> <p>市報やホームページを利活用した。</p>
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	<p>委託方法を見直し、営業の効率化やサービス向上による集客数増加を図ることで収益を増加させ、委託料を減額していく。また、委託方法の検討については改革推進課と連携して行く。</p> <p>委託方法を見直し、営業の効率化やサービス向上による集客数増加を図ることで収益を増加させ、委託料を減額していく。</p> <p>平成25年度より、委託方法が改変された。</p>
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	<p>老朽化した施設の整備等、多額の経費を必要とすることから、施設利用(特にコテージ)の抜本的な見直しについて、市長室、財務部等と連携し検討していく。</p> <p>老朽化した施設の整備等、多額の経費を必要とすることから、施設利用(特にコテージ)の抜本的な見直しについて、市長室、財務部等と連携し検討していく。</p> <p>市長室を中心として、運営方法を検討中である。</p>
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 効率的な施設運営により、市の経費負担が削減される。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	廣瀬 恭一	電話番号 0494-26-6867
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	08040006	担当課所名	都市計画課
基本事業名	スポーツの森整備事業		
総合振興計画	基本柱(章)	2	安全で住みたくなる「快適なまち」
	政策	1	魅力を高める地域基盤づくり
	施策	2	調和のとれた地域の形成
			総合振興計画 66 ページ

基本事業の概要	ミュージックパークスポーツの森プール・テニスコート等、利用者に安全快適に利用してもらえるよう整備を進めていく。また、プール開設期間中はぐるりん号を増発し、利用率を上げる。
---------	---

対象	スポーツの森利用者
意図 (対象をどのようにしたいか)	施設を快適に利用していただき、利用者の増加を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
スポーツの森利用者数		人	80,121	82,000	104,663	100,000	
スポーツの森における事故件数		人	0	0	0	0	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	ミュージックパークスポーツの森施設維持管理事業	指標 年度内計画の整備・改修率			100	%	A	◎
		5,243,566	15,908,660	11,481,000	100		維持 維持	
02	ミュージックパークスポーツの森プール運営事業	指標 プール利用者数			50,000	人	A	○
		1,374,030	1,257,480	2,014,000	52,339		維持 維持	
03		指標						
04		指標						
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14	ミュージックパークスポーツの森施設維持管理事業(H22から繰越)	指標						
	(参考) 最終予算額(円)		17,467,000	19,532,000				

事業費の合計(円)		(A)	16,291,246	17,166,140	13,495,000
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
正規職員	地方債				
	その他特定				
臨時職員 (事業費に含む)	一般財源		16,291,246	17,166,140	13,495,000
	業務量		0.85人	1.00人	
		人件費(B)	5,050,918	6,020,501	
事業費合計(人件費込み)		(円) (A)+(B)	21,342,164	23,186,641	

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	ミュージアムパークスポーツの森プール・テニスコート等、利用者に安全快適に利用してもらえるよう整備を進めていき利用者数の増加を図る。また、プール開設期間中はぐるりん号の増発をし利便性を向上させているのでこの指標を設定している。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 利用者の増加を図るために、市民向けにプールカードを発行する。また、ぐるりん号増発などをしたことに問題はない。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 施設管理の委託方法等について、今後検討していく必要がある。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
<p>表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 スポーツの森プールにおいては、早急に改修が必要なものはおおむね終了したが、利用者が安全快適に利用するためには更なる維持管理が必要である。 なお、施設に瑕疵があった場合の事故においては重大な責任が問われるため、施設運営には最大の注意が必要である。</p>	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	<p>廃止あるいは全面改築等についての方向性を見出す。</p> <p>昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) 廃止あるいは全面改築等についての方向性を見出す。</p> <p>ミュージアムパークの運営検討については、平成24年度から市長室へ引継いだ。</p>
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	<p>費用対効果が少ない施設等については、廃止を含めて検討する必要がある。</p> <p>費用対効果が少ない施設等については、廃止を含めて検討する必要がある。</p> <p>ミュージアムパークの運営検討については、平成24年度から市長室へ引継いだ。</p>
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 市長室を中心に、運営についての検討を実施中である。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	廣瀬 恭一	電話番号 0494-26-6867
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	08040007	担当課所名	都市計画課
基本事業名	一般公園運営事業		
総合振興計画	基本柱(章)	2	安全で住みたくなる「快適なまち」
	政策	1	魅力を高める地域基盤づくり
	施策	2	調和のとれた地域の形成
			総合振興計画 66 ページ

基本事業の概要	各施設の改修、修繕、遊具の点検等を行い、施設の安全を図り魅力的な公園作りをし、快適に利用してもらう。
---------	--

対象	一般公園・児童公園来園者
意図 (対象をどのようにしたいか)	施設の安全を図り、魅力的な公園作りをするとともに施設をより快適に利用してもらう。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
一般公園(ちちぶキッズパーク)利用者数		人	48,483	50,000	52,565	50,000	
児童公園遊具における事故件数		件	0	0	0	0	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	児童公園維持管理事業	指標 除草・清掃作業実施日数	100		100	日	A	○
		1,470,856	1,601,828	1,682,000	100		維持 維持	
02	児童公園遊具保守点検業務	指標 保守点検箇所数	34		33	箇所	A	
		420,000	420,000	420,000	33		維持 維持	
03	児童公園保険加入事務	指標 公園内事故件数	0		0	件	A	
		78,330	68,700	79,000	0		維持 維持	
04	児童公園工事・改修事業	指標 年度内計画の整備・改修率	100		100	%	C	
		116,445	682,500	280,000	100		維持 拡充	
05	ちちぶキッズパーク維持管理事業	指標 公園利用者数	50,000		52,565	人	A	◎
		6,509,449	7,070,961	6,592,000	52,565		維持 維持	
06	みどりが丘工業団地内公園維持管理事業 (都市公園運営事業より移動)	指標 除草・清掃作業実施日数	100		130	日	A	
		2,906,342	2,907,900	3,100,000	130		維持 維持	
07	荒川児童公園維持管理事業	指標 年度内計画の整備・改修率	100		100	%	A	
		1,269,164	1,279,242	1,947,000	100		維持 維持	
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13	児童公園工事・改修事業(平成22年度から繰越)	指標						
		1,837,500						
14	ちちぶキッズパーク整備事業(平成22年度から繰越)	指標						
		10,337,000						
(参考) 最終予算額(円)			28,067,000	16,140,000				
事業費の合計(円) (A)			24,945,086	14,031,131	14,100,000			

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性			

財源内訳	業務量	人件費(B)	
		23年度	24年度
国庫支出金	0.80人		1.00人
県支出金		4,753,805	6,020,501
地方債			
その他特定			
一般財源			
正規職員			
臨時職員 (事業費に含む)			
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		29,698,891	20,051,632

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	一般公園は、地域に存在する身近な公園として市民に親しまれている。特にちちぶキッズパークを整備した事により、年齢も異なる幼児・児童が入り混じって仲良く遊ぶことにより、社会性に対する体験学習の場としての効果も期待している。また、市内はもとより、県内外からの来園者にも多く利用されており、誰もが安全・快適に利用できるよう今後も簡易な整備をしていきたいと考える。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 市民の憩いの場として公園を整備することは、来園者により快適に安全に施設を利用することにつながるため、この事業は妥当と考える。日常的な集いの場や災害時の避難場所として、また身近な地元の公園として、子どもや高齢者が安心して利用できる公園を整備していきたい。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 都市公園同様、市民の憩いの場として魅力ある安全な施設を維持するためにも自治体の関与は妥当である。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 ちちぶキッズパークはオープン以来、多くの来園者が訪れており大変好評を得ている。そのため、今後も喜ばれるような維持管理を進めていく必要がある。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	<p>1回/年の専門業者による遊具保守点検を委託し実施しているが、職員による毎月の点検時に問題点が発見された場合は、未然に事故を防ぐためにも早急に対応を検討実施する。</p> <p>1回/年の専門業者による遊具保守点検を委託し実施しているが、職員による毎月の点検時に問題点が発見された場合は、未然に事故を防ぐためにも早急に対応を検討実施する。</p> <p>羊山公園管理事務所の職員数が、異動により平成22年度から減員となっているため、月1回の点検作業が実施できていない。</p>
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	<p>引き続き整備をすすめ、今後も多くの来園者が楽しめるレクリエーションの場や、身近な公園として地域に親しまれる公園の整備と活用ができるよう管理・運営を図り、更なる利用促進に努めていく。</p> <p>引き続き整備をすすめ、今後も多くの来園者が楽しめるレクリエーションの場や、身近な公園として地域に親しまれる公園の整備と活用ができるよう管理・運営を図り、更なる利用促進に努めていく。</p> <p>地元町会等との連携を密にしながら、遊具を中心とした管理を進めている。</p>
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	<p>少子化による公園遊具の利用減少を考え老朽化した遊具の撤去を検討し、維持管理費を縮減する。</p> <p>少子化による公園遊具の利用減少を考え老朽化した遊具の撤去を検討し、維持管理費を縮減する。</p> <p>平成24年度に地元と協議し、1箇所の児童公園を閉鎖した。今後も利用状況を調査し、適正な維持管理ができるよう努める。</p>
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 市民のレクリエーション活動の場となるような身近な公園として整備をすすめることにより、活力のある地域づくりに貢献することができる。また、生活に身近な空間として利用してもらい地域住民のふれあう交流の場となると考える。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	廣瀬 恭一	電話番号 0494-26-6867
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	08040008	担当課所名	都市計画課
基本事業名	芝桜の丘運営事業		
総合振興計画 位置づけ	基本柱(章)	4	にぎわいと感動を呼ぶ「交流のまち」
	政策	1	人が集まる観光づくり
	施策	1	観光資源の活用と整備
総合振興計画 104 ページ			

基本事業の概要	芝桜の丘への入園者は平成18年度の102万人をピークに減少傾向にあるものの、毎年数十万人の方においでいただいている。秩父市を代表する観光スポットである「芝桜の丘」の苗の植え替えや植栽地の土壌改良を行い、安定した芝桜の開花と育成を図る。
---------	---

対象	芝桜の丘来園者
意図 (対象をどのようにしたいか)	施設の安全を図り、魅力的な公園作りをして多くの人に訪れてもらう。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
芝桜まつり入園者数		人	510,703.	550,000.	521,250.	600,000.	
芝桜の丘事故件数		件	0.	0.	0.	0.	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指 標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	★ 芝桜まつり業務委託	指標 芝桜まつり期間中来園者数			550,000.	人	C	
		11,319,630	12,871,950	0	521,250.		縮小 拡充	
02	芝桜の丘維持管理事業	指標 除草清掃作業日数			200.	日	A	
		10,444,193	9,630,131	14,976,000	224.		維持 維持	
03	芝桜の丘整備工事事業	指標 土壌改良面積			2,360.	m ²	A	◎
		50,027,761	7,161,000	7,298,000	2,494.		維持 維持	
04	★ 芝桜対策事業業務委託	指標 芝桜の丘事故件数			0.	件	B	○
		75,407,430	88,622,000	112,865,000	0.		縮小 維持	
05	芝桜の丘除草ボランティア事業	指標 ボランティア参加人数			300.	人	A	
		0	0	0	362.		維持 維持	
06	芝桜対策緊急雇用創出事業	指標 臨時職員の数			8.	人	D	
		2,591,151	2,451,709	0	8.		完了 完了	
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)		162,055,000	125,305,000	
事業費の合計(円) (A)		149,790,165	120,736,790	135,139,000
財源内訳	国庫支出金	18,000,000	10,000,000	
	県支出金			
	地方債			
	その他特定	37,528,456	66,809,991	79,781,000
	一般財源	94,261,709	43,926,799	55,358,000
正規職員	業務量	3.10人	2.80人	
	人件費(B)	18,420,994	16,857,403	
臨時職員 (事業費に含む)	業務量	8.00人	8.00人	
	人件費	2,591,151	2,451,709	
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		168,211,159	137,594,193	

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	芝桜の丘は春の秩父路を代表するスポットとなり、市民をはじめ多くの観光客が訪れている。芝桜の管理は除草をはじめ手作業によるものが多く、職員に加え市民ボランティアも参加いただくなど、管理コストの削減に努めるとともに、園路整備等により、来園者に安全に楽しんでもらうことが出来たと考える。しかし、H24は記録的な寒い春となり、芝桜の開花が大幅に遅れ、芝桜まつり開始当初の4月上中旬の入込が大幅に減少した。また、入園料の徴収も4月24日からでないと実施できず、入園料収入も減となった。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 来園者に綺麗で安全な施設を利用してもらうため整備や対策を行っており、必要な事業の構成となっている。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 「芝桜の丘」は都市公園である羊山公園内の一部である。園内のその他の施設との一体的な管理が必要なため市の関与は適切であると考えられる。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
<p>表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 「芝桜の丘」運営で先ず重要なことは、芝桜をきれいに咲かせることである。植栽を始めて10年以上経過し、連作障害・病虫害が発生しているため、土壌の入れ替えと新苗へ植え替えを実施する。また、園内混雑時に事故が発生したこともあるため、園路整備などの安全対策をより強化する必要がある。 開花期間中は50万人を超える来園者があり、園内管理、交通対策等を市だけで行うことは難しく、来園者に快適に観賞いただくことはもとより、市民の安全確保も大切であるため芝桜対策事業が必要となるが、人件費を含めた経費が多額であるため内容を精査してより効果的な運営を図っていく。</p>	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	<p>毎年、芝桜ボランティアの参加者が減少しているため、市民参加による芝桜管理を進めたい。</p> <p>緊急雇用補助金が見込めなくなるため、園内サービスの業務については芝桜対策に一本化する。</p>
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	<p>芝桜対策事業の委託内容の見直し</p> <p>開花に合わせて委託内容(業務期間など)の見直しを実施した。</p>
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	<p>整備計画を策定</p> <p>計画に基づき実施</p>
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー	
綺麗な「芝桜の丘」を維持することで集客を図り、地域経済に寄与する。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	廣瀬 恭一	電話番号 0494-26-6867
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	08040009	担当課所名	都市計画課
基本事業名	中町駐車場管理事業		
総合振興計画	基本柱(章)	2	安全で住みたくなる「快適なまち」
	政策	1	魅力を高める地域基盤づくり
	施策	2	調和のとれた地域の形成
			総合振興計画 66 ページ

基本事業の概要	まちなかの活性化を目的とし、買い物及びまちなか回遊のため、駐車場施設の整備・管理を行う。
---------	--

対象	買物客及びまちなか回遊者
意図 (対象をどのようにしたいか)	利用者が買物及びまちなか回遊をしやすい環境を整えとともに安全・快適に利用できるようにする。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
事故件数		件	0.	0.	0.	0.	
利用(駐車)台数(延)			18,346.	20,160.	19,153.	20,160.	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	中町駐車場管理事業	指標	事故件数		0.	件	A	
			1,943	424,139	522,000		維持	維持
02		指標						
03		指標						
04		指標						
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)		573,000	1,473,000
事業費の合計(円) (A)		1,943	424,139
財源内訳	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
	その他特定	424,139	
	一般財源	1,943	0
正規職員	業務量	0.40人	0.40人
	人件費(B)	2,376,902	2,408,200
臨時職員 (事業費に含む)	業務量		
	人件費		
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		2,378,845	2,832,339

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	廃止	D	×	×	×
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	利用者に安全に駐車場を利用してもらえるように事故件数で設定した。施設等に大きな瑕疵もなく事故無く目標は達成された。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 指定管理施設であり、維持管理費及び整備費で構成する事業である。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 中町駐車場の他に、不特定多数の駐車ができる民間パーキングはないため、買い物やまちなか回遊のため今後も行政の関与は必要と思われる。維持管理方法は指定管理者により管理し、また運営方法の見直し等により経費削減につとめ利用料金制により、その範囲内で管理委託しているなど適切に実施している。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)		
予算を伴わず 早急に実施可能な 改善提案	指定管理者に管理運営委託をしているが、定期的にモニタリングを行うことにより適正に管理運営されているか確認する。	昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) 指定管理者に管理運営委託をしているが、定期的にモニタリングを行うことにより適正に管理運営されているか確認する。 定期的なモニタリングを行い適正な管理が行われているか確認した。
	利用状況により、駐車区画線の修繕を行うことで、利用者の利便性を上げる。	
	街なか活性化に寄与するため、舗装等施設の改修が必要となる。	舗装等施設の補修が必要となる。(ただし道路拡幅工事及び用地交渉状況により判断となる) 県道拡幅に伴う駐車場用地売り払いにより、出入り口の改修を行った。
短期的 (1～2年以内)に 実施可能な 改善提案		
中長期的 (概ね3～5年)に 実施可能な 改善提案		
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー		
舗装や区画線を整備することにより気持ちよく利用でき、買い物客及びまちなか回遊者が気持ちよく利用でき、まちなかが活性化する。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	廣瀬 恭一	電話番号 0494-26-6867
----------------------	-------	----------------------